

第9章 訓練・維持改善計画

9-1. 訓練計画

発災後の対応手順の確実な実行と下水道BCPの定着のため、訓練計画を立案し、定期的実施する。

訓練計画では、発災直後の対応に重点をおき、様々な事態を想定し、対応手順が確実に実行できるよう訓練するとともに、職員の意識向上や下水道BCPの習熟など下水道BCPの定着化に向け、定期的実施する。

また、訓練の実施を通して、得られた課題（不整合、非効率等）による対応手順の見直しは、「非常時対応計画」に反映させる。

一方、課題の対策として「対応の目標時間」を早めるために必要な対策は、「事前対策計画」として整理する。

下水道BCPの訓練計画を表9-1に示す。

表 9-1 下水道BCPの訓練計画

訓練名称	訓練内容	参加者	時期
参集訓練	・地震を想定した職員の非常参集。	全職員	年1回 ※時期については調整
安否確認 訓練	・全職員は、携帯電話メールにより安否を連絡。 ・安否確認担当職員は、安否確認の回答をとりまとめ。	全職員	
実地訓練	・仮設ポンプの運転確認。 ・汚水溢水を想定した箇所での仮設ポンプ等の運搬設置。 ・汚水中継ポンプ場被災を想定した委託業者、災害時維持修繕締結した民間企業等を含めての訓練	責任者 担当者	
情報伝達 訓練	・本庁とポンプ場との情報伝達訓練。 ・他の地方公共団体との支援に関する情報伝達訓練。 ・道路部局等の関連行政部局との情報伝達訓練。	責任者 担当者	

9-2. 維持改善計画

策定した下水道BCPの最新性を保ちつつ、計画全体のレベルアップを図るため、定期的に下水道BCPの内容を見直す。

下水道BCPの最新性を維持するため、人事異動等による策定体制・運用体制の変更、電話番号・メールアドレスの変更等について、それぞれの必要な点検頻度に応じて、表9-2に示す項目を点検する。

また、下水道BCPのレベルアップを図るため、これらの点検結果、事前対策の実施状況、訓練結果の反映状況等を踏まえ、下水道BCPの責任者は、表9-3に示すとおり、年1回程度、点検と是正措置状況を確認し、次年度以降の下水道BCPの取り組み（事前対策の実施予定等）を決定する必要がある。

なお、下水道BCPの内容が更新された場合は、随時、職員等に周知する。

表 9-2 下水道BCPの定期的な点検項目

点検項目	時期
人事異動、組織の変更による指揮命令系統、安否確認の登録情報に変更がないか。	年1回 ※時期については調整
関係先の人事異動により、電話番号やメールアドレスの変更がないか。	
重要なデータや文書のバックアップを実施しているか。	
策定根拠となる計画書を変更した場合、計画書に関連する文書がすべて最新版に更新されているか。	

表 9-3 下水道BCP責任者による総括的な点検項目

点検項目	時期
事前対策は、確実に実施されたか、また、過去1年間で実施した対策（下水道施設の耐震化等）を踏まえ、下水道BCPの見直しを行ったか。	年1回 ※時期については調整
優先実施業務の追加や変更等で下水道BCPの変更が必要ないか検討したか。	
訓練が年間を通して計画どおりに実施されたか、また、訓練結果を踏まえた下水道BCPの見直しを行ったか。	
来年度予算で取り上げる対策を検討したか。また、実施予定の対策について、予算化を検討したか。	